

平成21年度 新入生オリエンテーション

安武 芳紘

Yoshihiro YASUTAKE

九州産業大学 情報科学部 情報科学科

Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University

yasutake@is.kyusan-u.ac.jp, <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~yasutake/>

1. はじめに

新入生は大学での生活に期待を持つとともに、さまざまな不安を抱えている。例えば、友達ができるか心配、単位がとれるか心配、どのように時間割を組んでいくのかなどの学生生活に関する基本的な内容である。これらの不安を取り除き、充実した学生生活を始めることができるよう、情報科学部では合宿形式の新入生オリエンテーションを実施している。今回は平成21年4月に行った新入生オリエンテーションの実施内容を紹介する。

2. 概要

平成21年度の新入生オリエンテーションは4月5日(日)6日(月)にグローバルアリーナ(福岡県宗像市)にて行った。5日は日曜日であるが、大学行事と合宿施設の予約状況からこの2日間と決まり実施されることとなった。参加者は総勢139名で、新入生104名とともに教員20名と上級生15名が参加した。

例年、新入生オリエンテーションへの参加募集に応じた上級生が集まり、おおまかに決められた全体のスケジュールと教員のアドバイスを基にイベントを企画し、その準備や当日の運営を行っている。今年度は2月上旬のキックオフミーティングから打ち合わせを繰り返し行い、3月には資料や小道具、スタッフジャンパーなどの準備を行った。そして、オリエンテーション当日には上級生自らが企画したイベントを実施した。また、上級生はその他にも教員との顔合わせや食事などさまざまな場面で新入生のサポートをした。

3. 実施内容

上級生が企画したイベントを含む全体のスケジュールを表1に紹介する。例年と異なるのは初日に時間割作成を行うことである。これは昨年度の新入生オリエンテーションのアンケートに「時間割作成をする時間がもっと欲しかった」との意見が多く見られたことを考慮した結果である。上級生からも「初日に時間割作成をすることにより、消灯前の空き時間にも新入生同士や上級生と相談することができるのではないか」との意見があり、昨年度までのスケジュールの流れを調整した。その結果、大まかな流れとして初日に学生生活や単位の取り方の紹

介の後に時間割作成を行い、二日目にレクリエーションで親交を深めてもらうことにした。

4月5日(日)	
13:00	グループ内で自己紹介
14:30	グローバルアリーナに到着(図1)
15:00	上級生による学生生活紹介(図2)
18:00	夕食
20:00	時間割作成(図3)
21:30	風呂、消灯
4月6日(月)	
7:00	朝食
9:00	上級生によるレクリエーション
12:00	九州産業大学に到着

表1 スケジュール

3.1 学生生活紹介と時間割作成

上級生による学生生活紹介の時間は、講義にはどのようなものがあり、どのようにして単位をとれば良いのかなど、新入生が最も気にかけていると思われる内容を紹介した。上級生はスライドや配布資料を前もって準備し、それらを使って説明を行った。説明を長く続けると聞き手の集中力が続かないことがあるため、説明の合間にクイズを出題するなど内容以外にも工夫が見られた。

時間割作成は基礎ゼミナールのグループに教員と新入生、上級生が分かれて少人数で取り組んだ。すべてのグループが体育館で作業をしているので、講義の内容を担当の教員から聞くことや、資格取得に必要な講義の質問などがあつたときはその講義を受講した上級生に話を聞くことなどもでき、新入生には充実した時間が過ごせたようであった。

3.2 レクリエーション

新入生同士が話をして仲良くなる機会を作ることを目的に、今回は伝言ゲームとビンゴゲームを企画した。伝言ゲームは先頭の人から次々に伝言を受け渡し最後に正しく伝わることを競うゲームである。上級生は整列の方法や言葉を隣の人の伝えるための道具を作成するなどの準備、採点方法などを前もって準備し実施した。ビンゴゲームでは数字をランダムに表示するプログラムを作成



図1 バスにて移動



図2 プレゼンテーション



図3 時間割作成

して結果をスクリーンに表示するといった工夫をし、買出しと袋詰めをした景品を渡して最後までレクリエーションを盛り上げた。

4. 反省会から分かる今後の課題

合宿をしたグローバルアリーナから大学へ戻り解散した後、上級生による反省会を行った。まず良かった点として、スケジュールの管理ができていたことが挙げられた。時間の見積りを十分にしていたことに加えて、上級生が各自の役割をしっかりと果たしたことは評価できる。他には以下のような点が挙げられた。

- 新入生と仲良くなれた。
- スタッフジャンパーの作成に苦労したが周囲から好評で良かった。

次に反省点であるが、大小含めさまざまな点が挙げられた。それらの中からまず一つ目に学生生活紹介については、時間割や科目名の変更への対応十分ではなかったことが挙げられた。これらの変更は上級生には直接関わりのないこともあるため、教員のサポートが必要であると感じた。二つ目のレクリエーションについては、進行の準備不足が挙げられた。始めて大勢を相手にしたイベントを実施したことによって、細かい打ち合わせが必要な箇所や忘れてはいけない手順の存在に気づくことができたようである。最後に全体の反省点であるが、教員と上級生の役割分担が挙げられた。上級生が中心となって実施しているときも、上級生の手に負えないものについては教員が行うことが必要である。そのためにはさまざまなケースにおいて責任の所在を明確にしておき教員と上級生が協力して行動できるように準備する必要があると感じた。他に全体の反省として以下のような点が挙げられた。

- 全体の概略が説明できていなかったのので、何を始めるのか分かり辛い。
- 集合時の行動の打ち合わせが足りなかった。
- スタッフ募集やキックオフの呼びかけが遅かった。
- アンケートは4段階の選択にしたほうが良いのではないか。

反省会の内容は次年度の新入生オリエンテーションのキックオフで取り上げ、後輩に引き継がれる予定である。

5. ま と め

新入生オリエンテーションの実施に協力して下さった方々、上級生のスタッフジャンパー作成を援助して下さった情報科学部互助会のみなさまに感謝し、最後に平成21年度新入生オリエンテーションにおける集合写真を掲載する(図4、図5、図6)。



図4 集合写真：グループ1



図5 集合写真：グループ2



図6 集合写真：グループ3